

令和4年11月29日

熊取町議会

議長 二見 裕子 殿

会派名 新政クラブ

幹事長 矢野 正憲

経理責任者 田中 圭介

会派視察実施報告書

熊取町議会政務活動費交付要領第11条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

視 察 期 間	令和4年11月17日（木）～ 令和4年11月18日（金）	
視 察 先	11/17 福岡県新宮町 11/18 福岡県筑前町・粕谷町	
視 察 目 的	福岡市近郊で人口増加している町の視察	
出 席 者 氏 名	矢野正憲 河合弘樹 田中圭介	
旅 費 明 細	1人当たり	旅費総額
	交通費 <u>27551 円</u> (小数点以下切捨て)	3人分
	宿泊料 <u>12100 円</u>	<u>132395 円</u>
	その他 <u>4480 円</u>	
	合 計 <u>44131 円</u>	
	※レンタカー代等、3名で割り切れない費用があるため、総額と一致しません。	

【報告書】

令和4年11月17日18日 会派視察

11月17日(木) 13時50分～15時30分 福岡県新宮町役場

新宮町は福岡市の東部に隣接している町で、年間の人口増加率が2015年22.9%を記録し、全国市町村で1位を記録した。2010年3月にJR新宮中央駅が完成し、翌2011年にIKEAが駅前に出店、それとともにカインズ等の企業が出店した。調整区域で残っていた広大な水田の中に駅が建ったようで、都市整備は大変しやすく駅周辺には高層マンションが次から次へと出来たようです。杜の宮には旧NTT社宅と松林を造成し、戸建住宅が凄い数が建っていた。広大な水田に駅が出来たのが人口増に繋がったと感じた。

11月18日(金) 10時～12時 福岡県筑前町役場

筑前町は2005年に三輪町と夜須町が合併して出来た町。福岡市・久留米市両方から車で1時間の立地にあり、東洋一と言われた陸軍大刀洗飛行場があった場所でも有名。現在は大刀洗平和記念館として、多数の学校が社会見学に来ている。以前は地下水を飲むのが当たり前だったが、上水道・下水道を整備し、今では下水道率100%までインフラ整備した。特に転入促進施策などはしてなく、自然に人口が増えている町。全小中学校にランチルーム(全生徒と一緒に給食を食べる部屋)を作っている。子育てに力を入れており、30代のUターン転入が多くみられる。ふるさと納税も40億円と地場産品も豊富な町。

11月18日(金) 13時30分～14時45分 福岡県粕谷町役場

粕谷町は福岡市東区と博多区に隣接してる人口約49000人、数年後には5万人を上回る規模の町。持ち家率が熊取町86%に対し粕谷町47%と比較的賃貸が多い町で、3月は転入転出の人口入れ替わりが大変多い。

3町どこも共通なのが、転入定住へ特に力を入れてなく、自然増していると感じた。熊取町と比較は難しいところはあるが、学ぶところは多くあった。

【視察報告書】

令和4年11月17日(木)・18日(金) 福岡県新宮町・筑前町・粕屋町

11月17日(木)13:50分～15:30分

福岡県新宮町:「人口増加策について」

2015年の国勢調査で人口増加率22.9%を記録し、全国市町村で1位を記録

福岡県福岡市東区に隣接し、古賀市・久山市にも隣接している。人口増加は、1990年代の人口増加は緩やかであり、1万人台で推移。2000年代にも順調に人口増加をキープし2万人弱と微増傾向であった。

町内には西鉄新宮駅があったが、JRについては鹿児島本線が通っていたが、長い間駅はなかった。そこで平成12年度の第4次総合計画でJR新駅設置の調査研究を位置づけ、翌年の都市計画マスタープランで「まちの中心拠点地区」に位置づけ、新駅設置と周辺開発の土地利用基本調査を行い、農振農用地解除に向けた開発方針に転換を行ったようだ。

新駅の両サイド「沖田土地区画整理事業」「緑ヶ浜土地区画整理事業」を決定させ、また役場近くのNTT社宅跡地を「杜の宮地区地区計画」として民間事業者住宅開発をさせたようだ。

これに合わせて2010年JR新宮中央駅開業。区画整理としておこなっていた下水処理場、沖田中央公園が完成する。同時に都市計画道路(沖田地区4路線、緑ヶ浜地区1路線)も完成する。新駅開業だけでなく、6車線の国道、2車線の県道もしっかりと整備をされ、交通インフラが充実。電車で博多駅まで20分という好立地に2000万円台のマンションが林立したことから、即完売という好調ぶりで人口誘引策を講じる必要なく若い世代の人口が流入したとのこと。(新宮町の高齢化率18%・平均年齢41歳)事業区域周辺の既存住宅地にあっても、空き家が出てもすぐに売れるという好サイクルが形成されているようだ。

交通インフラ、都市計画マスタープラン等による区画整理事業の重要性を再認識させられた。熊取駅西の区画整理事業でマンション等ができれば、交流人口の拡大は見込めると感じた。

11月18日(金)10:00～12:00

福岡県筑前町:「人口増加策について」

政令市福岡市の南東約25キロ、中核市久留米市の北東約20キロ、福岡都市圏と久留米都市圏の中間に存在し、朝倉市・筑紫野市・飯塚市に隣接している。緑あふれる豊かで便利な「とかいなか筑前町」を標ぼうしており、都市公園数が福岡県トップとのことであった。大阪市から40キロの場所に位置する熊取町に似ているところがある。が、特段人口増加策・誘引策を行っていない。

2005年に三輪町と夜須町が合併し、合併特例債を活用しながら以前は地下水が飲料水であったようだが、上下水道を完備したこと、近隣市町村と比べ土地価格が安いこともあり、民間開発事業者が宅地開発を積極的に行っているようだ。

また、一住宅あたりの延べ面積が県内で3番目の広さであり、これが人気の要因のようで、30代子育て世代の転入増・Uターンの傾向がある。また、コロナ禍もあり子どもの養育に密を避けたい「とかいなか」の状況が転入増につながり、2021年に人口3万人を突破した。

町北部の夜須高原(山間部)と山麓部は人口減少地域となっているが、新たに県道が開通したことにより、大宰府・福岡方面への利便性が向上し、ファーマーズマーケット「みなみの里」が整備されている。

いちご観光農園事業として地域モデルとなる栽培手法を確立し、いちご生産農家の増加、観光農園として交流人口の増加、新規雇用の創出、所得向上など、にぎわいを取り戻しているとのことであった。

筑前町は土地価格が安いうえに、インフラ整備をし、民間開発事業者が宅地開発をしやすい環境を整えたのが人口流入につながっている。同時に稼ぐ農業にも力を入れて雇用創出に繋げているのが人口流出を防ぐことにつながり、結果人口増加につながっている。

熊取町の土地価格が近隣市と比較し安いということはないので、人口増加策転入促進策は必ずしなければならないと思う。また人口増加だけではなく、「とかいなか」を活かした体験宿泊やブルーベリー観光農園などの活用(ファーマーズマーケットの整備)で交流人口を増やすことが大切だと感じた。

11月18日(金)13:30分~14:45分

福岡県粕屋町:「人口増加に係る行政としての施策や支援策について」

福岡県福岡市東区と博多区に隣接しており、博多駅まで電車で10分、福岡国際空港まで車で15分、利便性が高く、大きな物流倉庫・会社が多数ある交通の要所のまちであり、図書館・体育館・公園など公共施設が充実した町でもある。

S30年代は炭鉱と農業で栄え、S50年代福岡市のベットタウンとして人口が急増。2010年の国勢調査で人口増加率が県内最多11.46%となった。今後は町の再開発計画によって、JR新駅や住宅が整備される予定とのことで、2040年の全国市町村別人口推計が全国トップの増加率になるとされているようで、2025年に5万人を超えると予測されている。ただ、町の特徴として、「単身世帯」が多く、定住率46.9%と低い、毎年転入転出が共に3000人を超え人口の移動が激しく、持ち家率も低いようである。熊取町の持ち家率が86%である旨を伝えると羨ましくとの声が上がった程ほどで、人口増加よりも住民の定住が以前からの課題のようである。

高い出生率も特徴であるが、若い夫婦が多い要因として、狭い面積ながら町内にJRの駅

が6駅もあるなど、交通利便性が高いことや、大型商業施設やスーパーやディスカウントストアなどが充実して買い物などの生活利便性も高いようであり、出産祝い金などの出生率上昇維持に特化した施策は行っていないとのことであった。

空港が近いこともあり、ベトナム人に代表される外国人の人口増加が毎年増加傾向にあるのが大きな特徴であり、(令和3年度770人)ダイバーシティとしての側面も持っている。

熊取町は、JRの駅が1つということで、これからも変わることはないので、岸和田南海線や外環の4車線化、泉州山手線などの基幹道路の完成を早期に図り、ロード店などの充実を求めることが町の活性化や利便性の向上につながり、定住人口の増加に繋がるものと感じた。